

千葉県のご供給・献血状況

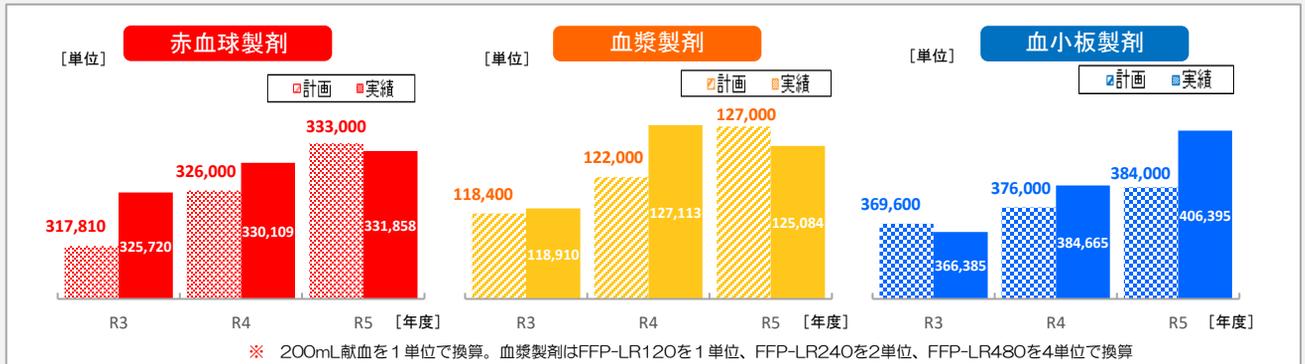
令和5年度の概要

千葉県内の輸血用血液製剤の需要は令和2年度から増加傾向が続いており、令和5年度は延べ863,337単位（対前年度比102.5%）を県内医療機関にお届けしました。

この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ236,025名（同101.6%）の皆さまに献血のご協力を頂きました。医療機関からの需要が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力と、献血ルーム等における予約献血の定着がより一層の安定供給につながりました。なお、新型コロナウイルス感染症が、感染症法上2類相当から5類へ移行したことで、一時中断していた企業や団体・学校での献血実施が再開できました。そのため、多くのご協力を頂き、医療機関に遅滞なく血液をお届けすることができました。

年齢別の献血状況は30代・40代にて減少しており、安全な輸血用血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、引き続きより多くの皆さまのご協力が必要とされています。

輸血用血液製剤供給状況（過去3年間の状況）



令和5年度の輸血用血液製剤需要は、赤血球製剤・血漿製剤では同程度、血小板製剤では引き続き増加しております。

献血状況と供給状況

区分	献血状況 [人]			供給状況 [単位]		
	令和5年度 目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数	令和5年度 計画数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数
400mL献血	153,050	157,984 (103.2%)	5,568	328,032	327,342 (99.8%)	2,250
200mL献血	4,004	5,841 (145.9%)	▲133	4,968	4,516 (90.9%)	▲501
血漿成分献血	43,312	45,929 (106.0%)	▲3,473	127,000	125,084 (98.5%)	▲2,029
血小板成分献血	26,216	26,271 (100.2%)	1,803	384,000	406,395 (105.8%)	21,730
合計	226,582	236,025 (104.2%)	3,765	844,000	863,337 (102.3%)	21,450

医療機関需要の高い400mL献血および血小板成分献血に多くのご協力をいただきました。

県内医療機関の需要に見合うご協力を頂きました。なお、事前予約による献血へのご協力が輸血用血液の安定確保に大きな力となりました。

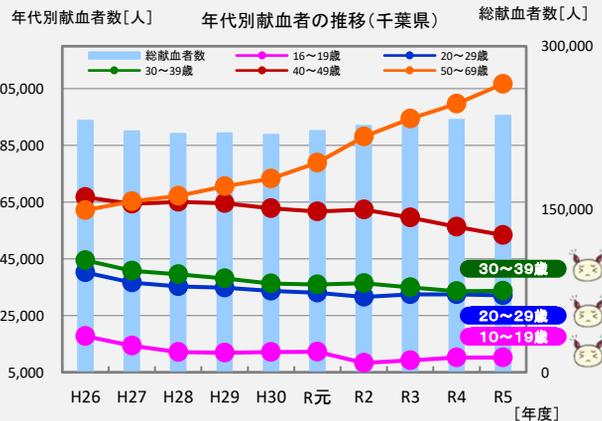
年代別献血状況

千葉県では、若年層（10代～30代）の献血者数が10年前に比べて25.8%減少し、近年では横ばいの状況が続いています。引き続き今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を行って参ります。

若年層（10代～30代）の献血者数

平成26年度 102,482人 → 令和5年度 76,014人

10年で約25.8%減少



令和6年度供給計画・献血目標

千葉県内の令和6年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保制当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関からの需要の高い400mL献血、高単位血小板成分献血(分割血小板)および分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、供給計画数 855,000 単位、献血目標数 229,702人と決定しました。

令和6年度供給計画 [単位]					令和6年度献血目標 [人]				
区分	令和6年度 計画数	令和5年度 計画数	増減	増減比(%)	区分	令和6年度 目標数	令和5年度 目標数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	-	400mL献血	153,079	153,050	29	100%
赤血球製剤	333,000	333,000	0	100.0%	200mL献血	3,906	4,004	▲98	97.6%
血漿製剤	127,002	127,000	2	100.0%	血漿成分献血	44,836	43,312	1,524	103.5%
血小板製剤	395,000	384,000	11,000	102.9%	血小板成分献血	27,881	26,216	1,665	106.4%
合計	855,002	844,000	11,002	101.3%	合計	229,702	226,582	3,120	101.4%

令和6年度計画数は、医療機関需要動向から令和5年度計画数と同程度となりましたが、血小板製剤については、医療機関からの需要増加に伴い、計画数も増加しています。

昨年度に引き続き血小板成分献血及び400mL献血の目標数は増加しています。血漿成分献血についても、免疫グロブリン製剤の需要増加により、千葉県内の目標数も増加しています。

献血の輪が広がりますように

輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用しております。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

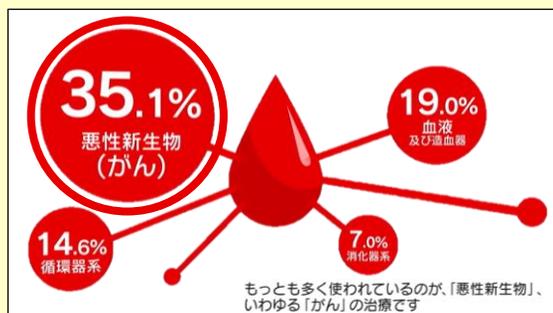
Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ?

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんを何人もの献血者で支えています。

一方、安全面を考慮し1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 輸血用血液製剤有効期間

【赤血球製剤】採血後28日間 【血小板製剤】採血後4日間



出典：東京都保険医療局(2022年)調べ

輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

社会の役に立つ

私は血液の病気の為、半年以上入院しています。その間に、15回輸血治療を受けました。皆さんが献血して下さいのおかげで、現在は快方へと向かっています。本当にありがとうございます。私も退院したら、皆さんのように社会に役立つ事をしたいと思っています！

50代女性

はじめての輸血

最初は入院といってもいいとは思っていませんでしたが、体調は悪くなっていき、輸血をすることになりました。はじめて輸血がどれほど重要なことか知りました。ぼくのことを何一つ知らず、顔もみたこともないのに、無償で自分の血をわけてくれる。そんなありがたいことをしてくれる人がいるのかと思いました。ぼくに血をわけてくれた人に感謝し、そして自分も人のためになにかできる人間になろうと思います。 10代男性

献血ルームのご案内

<p>柏献血ルーム (柏駅(東口)複合ビル5階)</p> <p>☎04-7167-8050</p>	<p>松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1階)</p> <p>☎047-703-1006</p>	<p>献血ルームフェイス (船橋駅南口Faceビル7階)</p> <p>☎047-460-0521</p>	<p>津田沼献血ルーム (津田沼ポット6階)</p> <p>☎047-493-0322</p>	<p>モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内)</p> <p>☎043-224-0332</p>	<p>運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内)</p> <p>☎043-276-3641</p>
<p>献血ルーム 受付時間</p> <p>【成分献血】10:00~12:00/14:00~17:00 【400・200mL】10:00~13:00/14:00~17:30 【定休日】年末年始</p>		<p>運転免許センター 献血ルーム 受付時間</p> <p>【400・200mL】9:00~13:00/14:00~16:30 ※日曜日~16:10 【定休日】毎週土曜日、祝日、年末年始 ※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では、成分献血の受付は行っていません。</p>			